

# 平成26年度（技術・家庭 技術分野）授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明、板書方法のスピードや工夫</li> <li>○板書・提示</li> <li>○次の授業指示</li> </ul> <p>昨年の評価からの改善傾向はあるが、さらなる指導方法の工夫、改善の必要性がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○立体のイメージ力向上</li> <li>○基礎技能の向上 →基礎・基本の定着指導（基本の繰り返し指導）</li> </ul> <p>実物をもっと多用し、視覚でとらえる工夫をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進度差を埋めるために、授業内の時間の使い方や放課後の時間などをうまく利用し、遅れている生徒の補充授業（補充製作）を行なう。</li> <li>○小テストの実施。</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明方法（話し方）の工夫</li> <li>○板書の工夫</li> <li>○指示、提示</li> <li>○事前指示の徹底</li> </ul> <p>改善傾向はあるが、同じ部分での指摘はある。こちらの思っている部分と受け取る側の差を埋める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最も使う電気を日常生活とからめてエネルギー問題と関連づけて意識を高めていく。</li> <li>○実生活に結びつく知識を柱にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進度差を埋め、技能を確認しながら進める。そのために細かなチェックを設け、随時技能を確認しながら進行をしていく。</li> <li>○小テストの実施。</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し方や指示</li> <li>○明確な指示</li> </ul> <p>昨年の課題は昨年に続き改善方向にある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンピュータの実用性を理解し、活用できる力をつける方向の授業内容を目指していく。</li> <li>○個人の力量差を考え、個別指導（巡回指導）を十分に行う。</li> <li>○ソフトウェアの機能を十分に理解したうえで、技能に応じて生徒が工夫し、考えて進める内容を考える。</li> <li>○授業数のカバーするためにプリントを活用していく。</li> <li>○将来を見据えた授業内容を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進度差を埋めるために、放課後等の時間を活用して、遅れている生徒の補充授業を行なう。</li> <li>○実技テストや小テストの実施。</li> </ul>